

からだのおかしさ

メーカー別電子体温計（平成2年8月1日現在、各社のカタログ等を参照の上作成）

メーカー	商品名・型式	方式	用途別	定価(税抜き)	電池交換	電池寿命
オムロン	けんおんくん MC3 MC3B MC3BW	実測	一般用	1,100円	可	連続使用で300時間以上（1日10分間使用で約3年）
			〃	1,600円		
			〃	1,800円		
	MC3L	実測	婦人用	1,800円		
シチズン商事	スヌービー電子体温計	実測	一般用	1,980円	可	約3年(1回3分、1日10回使用)
シャープ	デジタル体温計 MT-27 MT-28 MT-47	実測	一般用	980円	サービス窓口で交換(有料)	約3年(1日10分使用)
			〃	1,300円		
			〃	1,600円		
大鵬薬品工業	マイルーラレディ	実測	婦人用	3,000円	可	3年(1日10分使用)
テルモ	テルモ電子体温計	平衡温子測	口中型 わき下型 婦人用	2,850円 2,850円 3,000円	不同	約5年(1回1分、1日3回使用)
東芝硝子	はかろん ME-105A	実測	一般用	1,680円	可	約3年(1日2回、1回につき10分使用)
	はかろんL ME-302A	実測	婦人用	2,600円	可	
ビジョン	リリップ	平衡温子測、実測	婦人用	3,000円	不可	約7年
	チビオン	平衡温子測、実測	ベビー用	2,800円	不可	約5年
	ベビー用	実測	ベビー用	2,300円	可	約3年

注) ●子測式は何分かのちに実測に変わる。ビジョンのリリップとチビオンは子測・実測両用タイプ。
●検温時間は平衡温子測式は約1分、実測式は3～5分。
●シャープ、オムロンは以前子測式のものを出していたが、現在製造中止となっている。
(オムロンの子測式の商品名は「けんおんくんHi」)
●電池交換が「不可」というのは、いわゆる使い捨てだが、メーカー側では乾電池と同様の扱いで捨てるよう説明している。
〔出所〕 国民生活センター「たしかな目」1990年9・10月号

「微熱」や「低体温」が子どもの身体に異常があるのではなく、この子測式の問題があることが多いので実態を知っておくことが大切です。熱があるかないかの大きな目安を知るうえで子測式は使えますが、使い方はつきりしない場合は避けるべきです。正確に体温を測るには、水銀体温計または電子体温計の実測式で五分ないし一〇分測定するとよいでしょう。

(参考文献)
①西山豊「電子体温計の上手な使い方」『からだの科学』一九九一年九月
②西山豊「電子体温計の落とし穴」『数学セミナー』一九八八年一〇月

西山豊 (大阪経済大学)

からだのおかしさ

電子体温計

体温は、健康のバロメータといわれるように病気の状態を知るうえで非常に重要なものです。ところが最近「三七度近い微熱が続き登校拒否をしている」とか「あの元気な子どもの体温を測ってみると三六度未満です。低体温なのかしら」といった声が聞かれます。

電子体温計には、子測式と実測式の二種類があります。実測式は水銀体温計と変わりがないので問題ありませんが、子測式は方式が異なり大いに問題ありということです。体温計自体にはこの区別が明記されてなく、デジタル表示された温度を見て「電子はみな同じ」と理解されているようです。

子測式は、測りはじめて一分間の体温上昇カーブから一〇分後の値(これ以上あがらない温度)「平衡温」とよんでいます(これを子測して表示します。「ピピピ」と電子音が鳴って表示される温度は、一分後の実測値ではなく、一〇分後はこの程度の温度になりますよという子測した温度なのです。一〇分後の値は三七度を越えることがしばしばあるので「微熱」があるのではと心配します。

子測はあくまでも子測であり、ちょっとした温度上昇パターンの違いで、推定結果に大きな誤差が出てきます。その典型が、体温計の温まり具合による体温予測値の違いです。外気が低いと体温も上昇するまでに時間がかかります。よって体温上昇カーブは緩やかになり、そこから推定される子測値も低めに出来ます。三六度未満ということもあります。「低体温」さわぎは、この種の測定ミスにもよります。

子測式をとりいれた体温計には、テルモ社、ビジョン社(チビオン)、オムロン社(けんおんくんHi)などがあります。水銀体温計は計量法に基づき一本一国家検定を受け、許容される誤差も〇・一度までと厳しいのに対して、電子体温計には検定がありません。一九八九年五月に制定されたJIS(日本工業規格)によると、実測式の許容誤差が〇・二度、子測式の場合はさらに子測誤差が〇・二度上乗せされています。

八年ほど前から出だした子測式は一分間で測れるという魅力から急速に普及し、今やほとんどの病院や家庭で使われるようになっていきます。予防接種やプールの朝は、問診票の最後に必ず体温を記入することになっていますが、忙しい朝の時間帯であるので、おそらく子測式が使われているのではないのでしょうか。